

各 位

会 社 名 株式会社ラック  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 三輪 信雄  
(コード番号：4359)  
(URL <http://www.lac.co.jp>)  
取 締 役  
問 い 合 わ せ 先 管 理 本 部 長 大 橋 洋 一  
電 話 番 号 03 ( 5537 ) 2600

## 映像事業からの撤退およびそれに伴う特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 16 年 2 月 12 日開催の取締役会において、映像事業からの撤退ならびにそれに伴う特別損失を計上することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 映像事業からの撤退

##### (1) 事業撤退の理由

映像事業は社内ベンチャーとして平成11年末に米国インターネット・ピクチャーズ社（iPIX社）より導入した基本技術をベースとしてインターネットを活用したネットワークカメラ、Webサーバ、クライアントパソコンとを組み合わせたシステム構成で、映像系事業の研究開発に取り組み、平成14年9月に監視カメラシステムNetcamの製品化を実現し、平成15年1月より映像事業本部を立ち上げ本格的な販売に向けてさまざまな試行錯誤を重ねてまいりました。しかしながら、技術革新に加え価格競争が激しい監視カメラ市場において、魚眼レンズ使用による解像度の向上に課題を抱えたままでの事業展開は困難であり、また、SNS事業の立て直しが喫緊の課題である当社にとって、これ以上経営資源を投下し続けることはできないと判断し、映像事業からの撤退を決定したものです。

##### (2) 撤退時期

平成16年2月末

##### (3) 現状の売上規模

平成15年12月期見込み 売上高30百万円 経常損失56百万円

##### (4) 今後の業績に与える影響

映像事業からの撤退による今後の業績に与える影響については、売上高は軽微ですが、経常利益に関しましては約50百万円の増益要因となります。

2. 特別損失の発生とその内容

上記の映像事業からの撤退に伴い、同事業に関連する固定資産16百万円および販売見込がたたない棚卸資産114百万円を一括償却し、事業撤退損失として131百万円を計上します。

当社が開発・納品したコンピュータシステムの不具合により、ユーザー側で負担した対応費用等を補填し、受託開発補償損失として9百万円を計上します。

3. 今後の見通し

平成15年12月期決算において上記特別損失140百万円を計上しますので、当期純損失は前回予想695百万円から844百万円に増加する見込みです。

以上